

FFGS ポストプレスソリューション採用事例
～株式会社ドルック（北海道）～

客観的視点からの指摘が、見過ごしていた課題の
「気づき」と「改善」に繋がった。

北海道・旭川を拠点に印刷・後加工の一貫サービスを提供するドルックは、3年ほど前から FFGS のサポートのもとで製本部門の現場改善や設備更新を進めている。

「機械の使い方からメンテナンス方法まで、いろいろとアドバイスをいただいています。担当の方は製本のプロですから、現場を見ただけで、どんな課題があるか、何を改善すべきかがわかってしまうんですね。梱包の工程も、そうして指摘をいただいたポイントの一つでした」（齊藤社長）

従来、梱包および箱詰めはパート社員 4～5 人による手作業で行なっていたが、定時内に作業が終わらない場合は正社員が引き継いで残業対応していた。また、製本から梱包に移る際、パレットに積んで移動する必要があり、ここでも無駄な労力と時間がかかっていた。こうした課題の改善のため、FFGS からの提案でクラフト完全自動包装機を導入した。

その効果は明確に表われており、その一例を、佐藤常務はこう話す。

「導入前、3 人かかりきりで梱包しても定時内に終わらず、どうしても残業になってしまっていた定期の仕事があるのですが、梱包機を導入してからは、1 人で作業しても定時内に終わるようになり、圧倒的な生産効率の差を実感しています。また、荷姿が均一化でき、お客さまに安心感を提供できるようになったことも大きなメリットの一つです」

一方、同社は梱包以外にも、FFGS の提案やアドバイスによる工程改善を図っている。「無線綴じ機のオペレーションについて、現場で指導していただいたことがあります。いままでのやり方が実は適切でなかったようで、実際に作業しながら丁寧に教えていただき、とても勉強になりました」（齊藤社長）

齊藤社長は、「今後も現場の省力化・効率化を追求し、さらに設備の更新を進めていく」と力を込める。その中で FFGS のポストプレスソリューションに期待する役割について、次のように語った。

「全国いろいろなユーザーさんの工場を見たくて、客観的な視点で改善すべき点を指摘して下さるので、日常の仕事の中で見過ごしていた課題に気づくことができ、非常にありがたいですね。今後も定期的に現場でのアドバイス・指導をお願いしたいと思います」



代表取締役社長
齊藤啓一氏



常務取締役 工場長
佐藤 誠氏

